

コンプライアンス

当社では、すべての役員・従業員に確かな倫理観に基づく行動を促す規範として「サッポログループ企業行動憲章」を定めています。グループリスクマネジメント委員会のもと、総務部を事務局として、グループ全体のコンプライアンス体制を構築し、不正行為の未然防止・早期発見を目的とする企業倫理ホットラインを設置しています。また、業務執行ラインから独立した内部監査組織である監査部が、当社および子会社の業務全般を対象に法令・定款・社内規程の遵守状況について監査を行っています。

グループ共通施策

サッポログループでは、下記の施策をグループ共通で展開し、グループ各社が主体となって取り組みを行っています。

1 ミニブックの作成・配布

コンプライアンスに関するグループ共通の事項を記載した、携行用のミニブックを作成し、従業員に配布して、コンプライアンス推進に必要な事項の周知を図っています。

主な掲載内容

サッポログループの経営理念、企業行動憲章や主要なグループ規程、企業倫理ホットラインなどの相談窓口、ハラスメント防止や個人情報保護、反社会的勢力排除の取り組みなど

2 グループ共通コンプライアンスe-ラーニングの実施

従業員一人ひとりが、企業行動憲章および重要なグループ基本方針・規程、重要法令を理解し、確かな倫理観に基づいて行動すること、そしてそれにより、日常の行動におけるコンプライアンスリスクの低減を図ることを目的として、2007年以降、すべての従業員を対象としたコンプライアンスe-ラーニングを実施しています。

現在は年4回実施しており、対象者のコンプライアンス意識の向上と知識の定着に向けた継続的な取り組みとなっています。

3 ケーススタディによる職場勉強会

コンプライアンス意識のさらなる向上や、倫理的な価値判断の職場での共有を目的として、コンプライアンス事例集である「サッポロケースブック」(2008年初版発行、2013年改訂版発行)などを用いた勉強会を、職場ごとに実施しています。

4 従業員のコンプライアンス意識調査

コンプライアンス意識や企業行動憲章に基づいた行動が従業員に浸透しているかを確認するため、グループ共通で従業員意識調査を実施しています。また、その結果をグループ各社の経営層に報告することで、コンプライアンス施策に役立てています。

2007年から2012年までは、原則2年ごとにコンプライアンス意識調査を実施しました。2013年以降は、人事部門主催の従業員意識調査の中でコンプライアンスに関する調査を実施しています。

グループ各社の独自施策

グループ横断施策以外に、グループ各社では下記のような独自の取り組みも行っています。

サッポロライオン

4コマ漫画を用いた教材を毎月発行

外食事業の特性上、店舗数およびパート・アルバイト従業員も多いため、集合研修による教育・啓発は頻繁に実施できません。そこで、短時間のミーティング等でコンプライアンス上の問題が理解できるよう、4コマ漫画を用いた独自の教材「ライオン日和」を月1回発行。その時々テーマをわかりやすく伝えることで、コンプライアンス意識の浸透に努めています。

サッポロ不動産開発

タイムリーなコンプライアンスのトピックを解説する教材を毎月発行

従業員のコンプライアンス意識向上のため、15ページ程度の学習教材「旬のこんぶら定食」を毎月独自に作成し、従業員がネット上で学習しています。この学習により、複雑化の進むコンプライアンスに関する知識を、楽しみながらタイムリーに習得し、日々の業務に活かしています。